

別表(1)-1

基礎科目カリキュラム

全学部・学科 共通開講科目

分類	科目	学科展開			備考
		必修	選択必修	選択	
基礎 教養 科目	哲学入門			2	
	現代の教育			2	
	世界の歴史			2	
	日本の歴史			2	
	暮らしと法律			2	
	暮らしと政治			2	
	社会学入門			2	
	暮らしと経済			2	
	経営学入門			2	経営教育学科卒業要件必修
	経営学基礎論			2	経営教育学科卒業要件必修
	簿記入門			2	
	簿記論			2	
	教養の数理			2	
	生活の物理			2	自動車・中学校教職課程推奨
	生活の化学			2	自動車・中学校教職課程推奨
	環境と生物			2	
	心理学入門			2	
	情報機器の操作			2	教職課程必修(66条の6)
	デザイン論			2	
	社会と倫理			2	
	総合政策入門			2	
	生活とスポーツ			2	スポーツ教育コース基礎科目
	人間力概論			2	1年 全員履修 ※再履修不可
基礎教養演習			2	1年 全員履修 ※再履修不可	
外国 語 科目	英語Ⅰ			2	教職課程選択必修(66条の6)
	英語Ⅱ			2	
	英語Ⅲ			2	
	ドイツ語Ⅰ			2	教職課程選択必修(66条の6)
	ドイツ語Ⅱ			2	
	ドイツ語Ⅲ			2	
	フランス語Ⅰ			2	
	フランス語Ⅱ			2	
	フランス語Ⅲ			2	
	中国語Ⅰ			2	教職課程選択必修(66条の6)
	中国語Ⅱ			2	
中国語Ⅲ			2		

	韓国朝鮮語Ⅰ			2	
	韓国朝鮮語Ⅱ			2	
	韓国朝鮮語Ⅲ			2	
	日本語Ⅰ			2	
	日本語Ⅱ			2	
	日本語Ⅲ			2	
保健体育科目	健康スポーツ科学概論	2			教職課程選択必修(66条の6)

【履修方法】※全学部学科共通(学則第7条)

「基礎教養科目」

12単位以上の単位を修得すること。(卒業要件の必修)

※経営教育学部経営教育学科は、「経営学入門」と「経営学基礎論」を卒業要件の必修とする。

「外国語科目」

同一語学科目(母語以外)で6単位以上を修得すること。(卒業要件の必修)

履修順序はⅠから順に履修し修得することが条件となる。

〔×の例〕英語Ⅰ、英語Ⅱ、ドイツ語Ⅰ＝6単位

〔○の例〕中国語Ⅰ、中国語Ⅱ、中国語Ⅲ＝6単位

〔○の例〕フランス語Ⅰ、フランス語Ⅱ、フランス語Ⅲ、ドイツ語Ⅰ＝8単位

(但しドイツ語の2単位は卒業要件単位には含まれない。)

※継続的学習として、外国語科目6単位を修得した後に、2年生後期に専門教養選択科目として開講される「各語学のコミュニケーション」の科目を履修することを推奨する。この科目は専門教養科目の選択科目として卒業要件単位に算入する。

※他語学の履修を希望する場合には、1年後(2年次以降)に希望語学(母語以外)のⅠより履修を行うこと。

※教職課程を履修する場合は、英語Ⅰ・ドイツ語Ⅰ・中国語Ⅰのいずれかを必修とすること。

日本語ⅠⅡⅢは、外国人留学生のみ履修し修得ができる科目とする。

外国人留学生は日本語ⅠⅡⅢを外国語科目の必修とする。

「保健体育科目」

健康スポーツ科学概論2単位を必修すること。(卒業要件の必修)

別表(1)-2

専門カリキュラム(共通)

全学部・学科 共通開講科目(専門教養科目 選択科目)

分類	科目	単位	学科開講			備考	
			教育	児童	経営		
専門教養科目 選択科目	グローバルラーニング科目群	日本語口頭・表現	1	○	○	○	
		日本語聴解・会話	1	○	○	○	
		日本語文章表現Ⅰ	1	○	○	○	
		日本語文章表現Ⅱ	1	○	○	○	
		日本語コミュニケーション	1	○	○	○	
		ビジネス日本語	1	○	○	○	
		総合日本語演習	1	○	○	○	
		英語コミュニケーション	1	○	○	○	
		ドイツ語コミュニケーション	1	○	○	○	
		フランス語コミュニケーション	1	○	○	○	
		中国語コミュニケーション	1	○	○	○	
		韓国朝鮮語コミュニケーション	1	○	○	○	
		English ConversationⅠ	1	○	○	○	
		English ConversationⅡ	1	○	○	○	
		English ConversationⅢ	1	○	○	○	
	キャリア教育科目群	大学生活入門	2	○	○	○	
		キャリア基礎	2	○	○	○	
		キャリアデザインⅠ	2	○	○	○	
		キャリアデザインⅡ	2	○	○	○	
		卒業生から聞く仕事と人生	2	○	○	○	
		キャリアプランニングⅠ	2	○	○	○	
		キャリアプランニングⅡ	2	○	○	○	
		家業継承計画論	2	○	○	○	
		起業論	2	○	○	○	
		販売ビジネス経営論	2	○	○	○	
		フードビジネス経営論	2	○	○	○	
		不動産ビジネス経営論	2	○	○	○	
		ファッションビジネス経営論	2	○	○	○	
	自動車ビジネス経営論	2	○	○	○		
	職業・教職実践科目群	インターシップ	1	○	○	○	
		自転車整備基礎Ⅰ	2	○	○	○	
		自転車整備基礎Ⅱ	2	○	○	○	
		自動二輪整備基礎Ⅰ	2	○	○	○	
自動二輪整備基礎Ⅱ		2	○	○	○		
4輪整備基礎1-Ⅰ		2	○	○	○		
4輪整備基礎1-Ⅱ		2	○	○	○		
4輪整備基礎2-Ⅰ	2	○	○	○			

4 輪整備基礎 2-II	2	○	○	○	
教職総合演習 1-I	1	○	○	○	
教職総合演習 1-II	1	○	○	○	
教職総合演習 2-I	1	○	○	○	
教職総合演習 2-II	1	○	○	○	
教職総合演習 3-I	1	○	○	○	
教職総合演習 3-II	1	○	○	○	
教職総合演習 4-I	1	○	○	○	
教職総合演習 4-II	1	○	○	○	

【履修方法】※全学部学科共通(学則第7条)

1. 上表の全学部・学科共通開講科目(専門教養科目 選択科目)(以下「学部学科共通選択科目」という)は、2017年4月より在籍している全ての学生を対象とする。
2. 上表の学部学科共通選択科目で修得した単位は、学則第7条の卒業要件単位の専門教養科目選択の単位に加えられる。
 - 教育学科では、専門教養科目選択 80 単位の中に加えられる。
 - 児童教育学科では、専門教養科目選択 66 単位の中に加えられる。
 - 経営教育学科では、専門教養科目選択の 84 単位の中に加えられる。
1. 各コミュニケーションと付与する(英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国朝鮮語、日本語)の科目を履修するには、履修条件として履修を希望する語学のⅠⅡⅢの6単位を修得しておく必要がある。
2. 日本語コミュニケーションは、外国人留学生のみ履修し修得ができる科目とする。
3. 日本語口頭・表現、日本語聴解・会話、日本語文章表現ⅠⅡ、ビジネス日本語、総合日本語演習は、外国人留学生のみ履修し修得ができる科目とする。(外国人留学生は履修することを必須とする。)

別表(1)-3

臨床教育学部 教育学科専門カリキュラム(学科別)

教育学科 共通開講科目

分類	科目	学科展開		コース推奨					備考
		必修	選択	教育学	心理学	地域スポーツ指導者	スポーツ教育	ダンス	
専門 教養 科目	教育学概論Ⅰ【中等】	2							
	教育学概論Ⅱ	2							
	日本教育史Ⅰ		2	○					
	日本教育史Ⅱ		2	○					
	教育の方法と技術【中等】	2							
	教育方法学	2							
	教育社会学		2	○					
	教育心理学Ⅰ【中等】	2							
	教育心理学Ⅱ	2							
	教育行政学【中等】		2	○					
	世界教育史Ⅰ		2	○					
	世界教育史Ⅱ		2	○					
	専門演習Ⅰ	4							
	専門演習Ⅱ	4							
	卒業論文	4							
	教育哲学Ⅰ		2						
	教育哲学Ⅱ		2						
	教育課程論【中等】		2						
	学習心理学Ⅰ		2		○				
	学習心理学Ⅱ		2		○				
	生徒・進路指導の理論と方法【中等】		2						
	特別活動の指導法 (総合的な学習を含む)【中等】		2						
	教育制度論		2						
	教育調査法Ⅰ		2		○				
	教育調査法Ⅱ		2						
	社会教育論Ⅰ		2						
	社会教育論Ⅱ		2						
	家庭教育論Ⅰ		2						
家庭教育論Ⅱ		2							

道徳教育の指導法【中等】		2					
児童心理学Ⅰ		2	○				
児童心理学Ⅱ		2	○				
カウンセリング心理学Ⅰ		2	○				
カウンセリング心理学Ⅱ		2					
教育相談の理論と方法【中等】		2	○				
小児保健Ⅰ(スポーツ医学)		2			○		
小児保健Ⅱ		2					
人間関係論Ⅰ		2	○				
人間関係論Ⅱ		2	○				
産業福祉論Ⅰ		2					
産業福祉論Ⅱ		2					
精神保健Ⅰ		2	○				
精神保健Ⅱ		2					
国際法Ⅰ		2					
国際法Ⅱ		2					
国際経済学Ⅰ		2					
国際経済学Ⅱ		2					
日本文化研究Ⅰ		2					
日本文化研究Ⅱ		2					
産業地理学Ⅰ		2					
産業地理学Ⅱ		2					
社会地理学Ⅰ		2					
社会地理学Ⅱ		2					
社会思想史Ⅰ		2					
社会思想史Ⅱ		2					
会計学Ⅰ		2					
会計学Ⅱ		2					
情報科学		2					
放送教育Ⅰ		2					
放送教育Ⅱ		2					
生理学		2	○				
環境科学		2					
教育実習		4					
視聴覚教育Ⅰ		2					
視聴覚教育Ⅱ		2					
教職論【中等】		2					

特別講義Ⅰ		2						
特別講義Ⅱ		2						
特別講義Ⅲ		2						
特別講義Ⅳ		2						
環境保全管理学		2						
都市社会学Ⅰ		2						
都市社会学Ⅱ		2						
情報リテラシー		2						
プログラミング入門		2						
プログラミング応用		2						
日本国憲法		2						
ネットワーク技術		2						
教育実習事前・事後指導		1						
学校ボランティア		2				○		
特別支援教育総論		2						
教職実践演習(中・高)		2						
ビジネスコンピューティング入門		2						
教育の文学		2						
教育方法の文学		2						
健康スポーツ科学実習		1				○		
障害者スポーツ概論		2				○		
障害者レクリエーション		2				△		
日本の言語文化		2						
人事労務管理論		2						
EU文化研究Ⅰ		2						
EU文化研究Ⅱ		2						
フランス文化研究Ⅰ		2						
フランス文化研究Ⅱ		2						
西洋古典研究Ⅰ (ヨーロッパ古典語への招待)		2						
西洋古典研究Ⅱ (ヨーロッパ古典語と文学)		2						
英米文学の変遷Ⅰ (ブリティッシュ・アイリッシュ文学)		2						
英米文学の変遷Ⅱ(北米文学)		2						
英米文学との出会いⅠ (英米小説を読む)		2						
英米文学との出会いⅡ (英米詩を読む)		2						
英語の変遷		2						
英語の発音と仕組み		2						

English Structure I		2						
English Structure II		2						
English Structure III		2						
English Structure IV		2						
Creative Writing I		2						
Creative Writing II		2						
Basic Writing I		2						
Basic Writing II		2						
English Communication I		1						
English Communication II		1						
English Communication III		1						
English Communication IV		1						
English Communication V		1						
English Communication VI		1						
English Communication VII		1						
English Communication VIII		1						
マスメディア英語の理解と演習		2						
English Listening Workshop I		2						
English Listening Workshop II		2						
English Listening Workshop III		2						
English Listening Workshop IV		2						
ビジネス英語の理解と演習		2						
TOEIC		2						
TOEFL		2						
観光英語		2						
英語コンピュータ演習		2						
Intercultural Communication		2						
英語特別講義 I		2						
英語特別講義 II		2						
英語特別講義 III		2						
英語特別講義 IV		2						
英語教育の変遷		2						
中等教科教育法 I (英語)		2						
中等教科教育法 II (英語)		2						
国際交流論		2						
Basic Reading		2						
英米文学・文化 A to Z		2						

海外語学研修		4						
Intermediate Reading		2						
現代国際事情		2						
Extensive Reading		2						
アジア太平洋文化研究		2						
Intercultural Studies I (North American and British Studies)		2						
Intercultural Studies II (Asian and Japanese Studies)		2						
中等教科教育法Ⅲ(英語)		2						
中等教科教育法Ⅳ(英語)		2						
コース推奨単位合計			12	26	0	9	0	

○印＝コース推奨科目 △印＝コース選択科目 ◇印＝選択推奨科目

【履修方法】

- 卒業要件必要単位として、基礎教養科目 12 単位、外国語科目 6 単位、保健体育科目 2 単位、専門教養必修科目(学科必修科目)24 単位、専門教養選択科目 80 単位以上を修得した合計が 124 単位以上になること。(卒業要件)
- コースの専門性を確保するため、専門教養選択科目の卒業要件単位 80 単位以上の中に、学科共通開講科目群と各コース展開科目群の中(学科必修科目を除く)より、該当するコース推奨科目・選択科目・選択推奨科目の単位を含め修得すること。各コース展開科目は、後掲別表(1)－3－1を参照すること。

【取得可能な教育職員免許状】

- ・ 中学校教諭一種免許状 (社会) (保健体育)
- ・ 高等学校教諭一種免許状 (公民) (保健体育)
- ・ 教育職員免許状授与の所要資格を得させるための課程は、別表(2)に定める。

【諸資格及び受験資格取得】

各資格等の取得については別表(3)を参照すること。

- ・ 認定心理士「社団法人日本心理学会認定資格」
- ・ 准学校心理士「一般社団法人 学校心理士認定運営機構」
- ・ 日本体育協会公認スポーツ指導者受験資格「公益財団法人 日本体育協会公認」
- ・ 公認障害者スポーツ指導員(初級)「公益財団法人 日本障害者スポーツ協会」
- ・ 健康運動実践指導者受験資格「公益財団法人 健康・体力づくり事業財団」

教育学科コース別カリキュラム

別表(1)-3-1

教育学科 教育学コース

教育学科 心理学コース

分類	科 目	学科展開		教育学	心理学
		必修	選択	コース 推奨	コース 推奨
教育学・心理学コース展開科目	発達心理学Ⅰ		2	○	○
	発達心理学Ⅱ		2		○
	教育心理学研究法Ⅰ		2		○
	教育心理学研究法Ⅱ		2		○
	政治学概論Ⅰ		2		
	政治学概論Ⅱ		2		
	国際政治学Ⅰ		2		
	国際政治学Ⅱ		2		
	経済学概論Ⅰ		2		
	経済学概論Ⅱ		2		
	日本史概論Ⅰ		2		
	日本史概論Ⅱ		2		
	日本文化史研究Ⅰ		2		
	日本文化史研究Ⅱ		2		
	外国史概論Ⅰ		2		
	外国史概論Ⅱ		2		
	西洋文化史Ⅰ		2		
	西洋文化史Ⅱ		2		
	人文地理学Ⅰ		2		
	人文地理学Ⅱ		2		
	自然地理学Ⅰ		2		
	自然地理学Ⅱ		2		
	地誌学概論Ⅰ		2		
	地誌学概論Ⅱ		2		
	法律学概論Ⅰ		2		
	法律学概論Ⅱ		2		
	社会学概論Ⅰ		2		
	社会学概論Ⅱ		2		
	哲学概論Ⅰ		2	○	
	哲学概論Ⅱ		2		
	倫理学概論Ⅰ		2	○	
	倫理学概論Ⅱ		2		
中等教科教育法(社会)Ⅰ		2			
中等教科教育法(社会)Ⅱ		2			
中等教科教育法(社会・公民)Ⅰ		2			

中等教科教育法(社会・公民)Ⅱ		2		
宗教学概論Ⅰ		2		
宗教学概論Ⅱ		2		
教育心理学実験Ⅰ		2		○
教育心理学実験Ⅱ		2		○
地理学概論Ⅰ		2		
地理学概論Ⅱ		2		
コース推奨単位合計			6	12

○印＝コース推奨科目 △印＝コース選択科目 ◇印＝選択推奨科目

【履修方法】

- ・ 卒業要件必要単位として、基礎教養科目 12 単位、外国語科目 6 単位、保健体育科目 2 単位、専門教養必修科目(学科必修科目)24 単位、専門教養選択科目 80 単位以上を修得した合計が 124 単位以上になること。(卒業要件)
- ・ コース展開科目群より修得した単位は、全て専門教養選択科目の卒業要件単位 80 単位に算入される。
- ・ コースの専門性を確保するため、専門教養選択科目の卒業要件単位 80 単位以上の中に、学科共通開講科目群とコース展開科目群の、コース推奨科目・選択科目・選択推奨科目の単位を含めること。
- ・ 心理学コース履修者はコース推奨科目を全て修得すれば、認定心理士（社団法人日本心理学会認定資格）の資格申請が可能となる。

【取得可能な教育職員免許状】

- ・ 中学校教諭一種免許状(社会)
- ・ 高等学校教諭一種免許状(公民)
- ・ 教育職員免許状授与の所要資格を得させるための課程は、別表(2)に定める。

【諸資格及び受験資格取得】

各資格等の取得については別表(3)を参照すること。

- ・ 認定心理士「社団法人日本心理学会認定資格」
- ・ 准学校心理士「一般社団法人 学校心理士認定運営機構」
- ・ 公認障害者スポーツ指導員(初級)「公益財団法人 日本障害者スポーツ協会」

教育学科コース別カリキュラム

別表(1)-3-2

教育学科 地域スポーツ指導者コース

分類	科目	学科展開		コース推奨	備考
		必修	選択		
地域スポーツ指導者コース展開科目	運動生理学		2		
	スポーツ栄養学		2		
	スポーツ社会学		2		
	運動指導と実際		2		
	運動学(運動方法学含む)		2		
	運動プログラム		2		
	トレーニング演習		1		
	運動処方		2		
	スポーツ経営管理論		2		
	スポーツ心理学		2		
	体力測定と評価		2		
	コーチング演習		2		
	スポーツ演習Ⅲ※ ¹		1		
	健康運動実践指導者Ⅰ		2		
	健康運動実践指導者Ⅱ		2		
	健康運動実践指導者Ⅲ		2		
	コーチ学総論		2	○	
	コーチング法基礎		2	○	
	コーチング法演習Ⅰ		2	○	
	コーチング法演習Ⅱ		2	○	
	武道論Ⅰ		2	○	
	武道論Ⅱ		2	○	
	運動と健康の科学		2	○	
	こどもスポーツ論		2	○	
	地域とスポーツ		2	○	
	スポーツマネジメント論		2	○	
	スポーツスタディ(ホテコンデ'イションク')		2	○	
	スポーツマネジメント演習Ⅰ		2	○	
スポーツマネジメント演習Ⅱ		2	○		
スポーツ統計学		2	○		
コース推奨単位合計(△印選択推奨単位含む)				28	

○印=コース推奨科目 △印=コース選択科目 ◇印=選択推奨科目

【履修方法】

1. 卒業要件必要単位として、基礎教養科目 12 単位、外国語科目 6 単位、保健体育科目 2 単位、専門教養必修科目(学科必修科目)24 単位、専門教養選択科目 80 単位以上を修得した合計が 124 単位以上になること。(卒業要件)
2. コース展開科目群より修得した単位は、全て専門教養選択科目の卒業要件単位 80 単位に算入される。
3. コースの専門性を確保するため、専門教養選択科目の卒業要件単位 80 単位以上の中に、学科共通開講科目群とコース展開科目群(学科必修科目を除く)より、コース推奨科目・選択科目・選択推奨科目の単位を含めること。

【取得可能な教育職員免許状】

なし

【諸資格及び受験資格取得】

各資格等の取得については別表(3)を参照すること。

- ・ 認定心理士 「社団法人日本心理学会認定資格」
- ・ 准学校心理士 「一般社団法人 学校心理士認定運営機構」
- ・ 日本体育協会公認スポーツ指導者受験資格 「公益財団法人 日本体育協会公認」
- ・ 公認障害者スポーツ指導員(初級)「公益財団法人 日本障害者スポーツ協会」
- ・ 健康運動実践指導者受験資格「公益財団法人 健康・体力づくり事業財団」

教育学科コース別カリキュラム

別表(1)-3-3

教育学科 スポーツ教育コース

分類	科目	学科展開		コース推奨	コース展開 教職課程	備考	
		必修	選択				
スポーツ教育コース 展開科目	中等教科教育法Ⅰ(保健体育)		2		教職		
	中等教科教育法Ⅱ(保健体育)		2		教職		
	中等教科教育法Ⅲ(保健体育)		2		教職		
	中等教科教育法Ⅳ(保健体育)		2		教職		
	スポーツ栄養学		2		教科		
	体育実技A(バレーボール)		1		教科		
	体育実技B(バスケットボール)		1		教科		
	体育実技C(サッカー・ソフトボール)		1		教科		
	武道A(柔道)		1		教科		
	武道B(剣道)		1		教科		
	ダンス(教職)		1		教科		
	水泳実習		2		教科		
	陸上競技		1		教科		
	器械運動		1		教科		
	スキー実習		2		教科		
	体育原理		2		○	教科	
	スポーツ心理学		2		○	教科	
	スポーツ経営管理学		2		○	教科	
	スポーツ社会学		2		○	教科	
	運動学(運動方法学含む)		2			教科	
	コーチング論		2		○	教科	
	運動生理学		2		○	教科	
	衛生学		2			教科	
	公衆衛生学		2			教科	
	学校保健		2			教科	
	学校安全及び救急法		2			教科	
	運動処方		2				
	コーチング演習		2			教科	
	児童体育		2				
	生涯スポーツ論		2				
	スポーツ演習Ⅰ ^{*1}		1			教科	
スポーツ演習Ⅱ ^{*1}		1			教科		
スポーツ演習Ⅲ ^{*1}		1			教科		
スポーツ演習Ⅳ ^{*1}		1			教科		
スポーツ演習Ⅴ ^{*1}		1			教科		
スポーツ演習Ⅵ ^{*1}		1			教科		

トレーニング演習		1		教科	
レクリエーション概論		2		教科	
運動指導と実際		2		教科	
運動プログラム		2		教科	
TOEIC のための英語 I		2			
TOEIC のための英語 II		2			
健康運動実践演習 I		2			
健康運動実践演習 II		2			
健康運動実践演習 III		2			
体力測定と評価		2		教科	
コース推奨単位合計(◇印選択推奨単位含む)			12	59	

○印＝コース推奨科目 △印＝コース選択科目 ◇印＝選択推奨科目

【履修方法】

- ・ 卒業要件必要単位として、基礎教養科目 12 単位、外国語科目 6 単位、保健体育科目 2 単位、専門教養必修科目(学科必修科目)24 単位、専門教養選択科目 80 単位以上を修得した合計が 124 単位以上になること。(卒業要件)
- ・ コース展開科目群より修得した単位は、全て専門教養選択科目の卒業要件単位 80 単位に算入される。
- ・ コースの専門性を確保するため、専門教養選択科目の卒業要件単位 80 単位以上の中に、学科共通開講科目群とコース展開科目群(学科必修科目を除く)より、コース推奨科目・選択科目・選択推奨科目の単位を含めること。
- ・ ※1 スポーツ演習 I II III IV V VI は 6 科目より 3 科目を選択推奨とする。
但し、競技種目の特性上、開講する上での履修人数に満たない場合には不開講となる場合がある。

【取得可能な教育職員免許状】

- ・ 中学校教諭一種免許状(保健体育)
- ・ 高等学校教諭一種免許状(保健体育)
- ・ 教育職員免許状授与の所要資格を得させるための課程は、別表(2)に定める。

【諸資格及び受験資格取得】

各資格等の取得については別表(3)を参照すること。

- ・ 認定心理士 「社団法人日本心理学会認定資格」
- ・ 准学校心理士 「一般社団法人 学校心理士認定運営機構」
- ・ 日本体育協会公認スポーツ指導者受験資格 「公益財団法人 日本体育協会公認」
- ・ 公認障害者スポーツ指導員(初級)「公益財団法人 日本障害者スポーツ協会」
- ・ 健康運動実践指導者受験資格「公益財団法人 健康・体力づくり事業財団」

教育学科コース別カリキュラム

別表(1)-3-4

教育学科 ダンスコース

分類	(新) 科目	学科展開		コース 推奨	コース 展開 教職 課程	備考	
		必修	選択				
ダンスコース展開科目	ダンスⅠ-1		1	○			
	ダンスⅠ-2		1	○			
	ダンスⅡ-1		1	○			
	ダンスⅡ-2		1	○			
	ダンスⅢ-1		1	○			
	ダンスⅢ-2		1	○			
	ダンスⅣ-1		1	○			
	ダンスⅣ-2		1	○			
	ヒップホップⅠ-1			1	○		
	ヒップホップⅠ-2			1	○		
	ヒップホップⅡ-1			1	○		
	ヒップホップⅡ-2			1	○		
	ヒップホップⅢ-1			1	○		
	ヒップホップⅢ-2			1	○		
	ヒップホップⅣ-1			1	○		
	ヒップホップⅣ-2			1	○		
	ロックⅠ-1			1	○		
	ロックⅠ-2			1	○		
	ロックⅡ-1			1	○		
	ロックⅡ-2			1	○		
	ロックⅢ-1			1	○		
	ロックⅢ-2			1	○		
	ロックⅣ-1			1	○		
	ロックⅣ-2			1	○		
	ジャズⅠ-1			1	○		
	ジャズⅠ-2			1	○		
	ジャズⅡ-1			1	○		
	ジャズⅡ-2			1	○		
	ジャズⅢ-1			1	○		
	ジャズⅢ-2			1	○		
	ジャズⅣ-1			1	○		
	ジャズⅣ-2			1	○		
ダンス表現Ⅰ-1			1	○			
ダンス表現Ⅰ-2			1	○			
ダンス表現Ⅱ-1			1	○			
ダンス表現Ⅱ-2			1	○			

ダンスの基礎知識Ⅰ		2	○		
ダンスの基礎知識Ⅱ		2	○		
演劇Ⅰ-1		1	○		
演劇Ⅰ-2		1	○		
演劇Ⅱ-1		1	○		
演劇Ⅱ-2		1	○		
芸能と経営		2			
舞踊の音楽		2			
ボディーコンディショニング		1			
アーツマネジメント		2			
コース推奨単位合計(◇印選択推奨単位含む)			38	0	

○印＝コース推奨科目 △印＝コース選択科目 ◇印＝選択推奨科目

【履修方法】

- ・ 卒業要件必要単位として、基礎教養科目 12 単位、外国語科目 6 単位、保健体育科目 2 単位、専門教養必修科目(学科必修科目)24 単位、専門教養選択科目 80 単位以上を修得した合計が 124 単位以上になること。(卒業要件)
- ・ コース展開科目群より修得した単位は、全て専門教養選択科目の卒業要件単位 80 単位に算入される。
- ・ コースの専門性を確保するため、専門教養選択科目の卒業要件単位 80 単位以上の中に、学科共通開講科目群とコース展開科目群(学科必修科目を除く)より、コース推奨科目・選択科目・選択推奨科目の単位を含めること。

【取得可能な教育職員免許状】

- ・ 中学校教諭一種免許状(社会・英語・保健体育)
- ・ 高等学校教諭一種免許状(公民・英語・保健体育)
- ・ 教育職員免許状授与の所要資格を得させるための課程は、別表(2)に定める。

【諸資格及び受験資格取得】

各資格等の取得については別表(3)を参照すること。

- ・ 認定心理士「社団法人日本心理学会認定資格」
- ・ 准学校心理士「一般社団法人 学校心理士認定運営機構」
- ・ 日本体育協会公認スポーツ指導者受験資格「公益財団法人 日本体育協会 公認」
- ・ 公認障害者スポーツ指導員(初級)「公益財団法人 日本障害者スポーツ協会」
健康運動実践指導者受験資格「公益財団法人 健康・体力づくり事業財団」